

市民第一の事務事業及び電子行政の推進について



滝田 一郎 議員



一般質問



藤田 善幸 議員



部活動地域移行について

**質問**…オンライン申請や決済の拡充など、窓口手続の簡素化による市民サービスの向上について伺います。

**答弁**…現在のシステムには料金決済機能がありませんが、将来的には料金決済を可能とするシステムを構築し、市民が来庁せずに自宅などで申請や支払いができるよう、市民サービスの向上に努めます。

**質問**…地方公共団体情報システムの標準化に関する法律の施行への対応について伺います。

**答弁**…自治体の経費削減や業務改善に効果があると考えています。移行は令和7年度末までとされており、順次対応します。

**質問**…業務システムの標準化によるクラウドサービス、ソフトウェアの導入について伺います。

**答弁**…住民基本台帳や税などの

**質問**…部活動の課題として、少子化の進展により、従前と同様の学校単位での体制での運営が困難、学校や地域によって存続は厳しい、専門性や意思にかかわらず教師が顧問を務める指導体制の継続は、学校の働き方改革が進む中、より困難です。地域の子どもたちは、大田原市の未来の財産、希望であり、大田原の未来を地域の皆さま

んで育て、地域の資源を最大限に活用し整備する。まちづくりも兼ねている大きな改革です。協議会も含め、現在の進捗状況を伺います。

**答弁**…令和6年度より拠点校部活動を導入します。部活動を理由に通学指定校を変更することなく、在籍する中学校で学校生活を送り、部活動のみ拠点校において実施することが可能となります。

**質問**…近隣の自治体や先行して地域移行に取り組んでいる自治体を参考に、本市に合う移行スケジュールの確定、進捗状況を定期的に報告の考えがあるか伺います。

**答弁**…部活動の指導者講習会を年2回実施していますので、その中で随時発信をしていきたいと思っております。

**質問**…マイナンバーカードの活用について伺います。

**答弁**…本市の保有率は、令和6年1月末現在で74.3%です。市独自の行政手続オンライン申請などの向上を目指します。